

報道関係者各位

平成25年12月26日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

＝プレスリリース＝

カンボジア国流域水資源利用プロジェクト 合意文書署名式 —適切な水配分の為の流域管理能力を強化—

カンボジア水資源気象省（MOWRAM）市庁舎にて、国際協力機構（JICA）カンボジア事務所長・井崎宏は、カンボジア水資源気象省ブン・ヒアン次官との間で、技術協力事業「カンボジア国流域水資源利用プロジェクト」の実施にかかる合意文書に署名しました。

同プロジェクトは、カンボジア国内の対象6流域における水資源管理をテーマとしており、対象流域における様々なステークホルダーと共働して適切な水資源管理が出来るよう、MOWRAMの職員達の人材育成を図るものです。

2001年よりJICAは、MOWRAMに対し技術協力プロジェクトを実施してきました。これまでは主に、灌漑排水施設の設計・施工管理やモニタリングなどを中心に指導を行ってまいりましたが、今回のプロジェクトはさらに上流も含んだ全体の流域管理計画を策定し、同じ流域内で計画および実施されている様々な灌漑プロジェクト間の調整が行われ、流域全体の水配分が適切に実施されるようになることを目指しています。

このプロジェクトにより、河川流域委員会が設立・強化され、対象流域の農地や灌漑施設への水配分が公平かつ効率的になされることで、農業生産性の向上につながっていくことが期待されます。

現在カンボジア政府は、水資源管理に係る政策策定及び法整備を進めており、今回のプロジェクトの中心となる河川流域委員会の設置や流域計画案の策定等を担当するMOWRAMの能力向上が強く求められています。



署名式にて。（中央左から）JICAカンボジア事務所長・井崎宏、MOWRAM リム・ケンホー大臣、MOWRAM ブン・ヒアン次官。